

食品ロス削減及び食品廃棄物等の3R推進事業費



【令和3年度要求額 133百万円（123百万円）】

食品循環資源の再生利用等について一層の取組強化を図ります。

1. 事業目的

- ① 本年3月に食品ロス削減法（R1.10月施行）に基づく基本方針が閣議決定され、2030年までに2000年度比で食品ロスを半減するとの目標に向けて地方公共団体の計画策定や、消費者・事業者等を巻き込んだ取組の推進を規定。
- ② 新型コロナの影響による食にかかるライフスタイルの変化も考慮しつつ、地方公共団体間でのネットワークの強化や先進的事例の創出・横展開を行うとともに、食品関連事業者等とも連携し消費者の行動変容を促進。
- ③ また、食品リサイクル法の見直し（R1.7月）を踏まえ、特に外食分野等での食品リサイクル率等の向上を図る。

2. 事業内容

1. 地域力を活かした食品ロス・廃棄物の削減の推進

- 地方公共団体の食品ロス削減推進計画策定の努力義務化等を受けた
・「全国食べきりネットワーク協議会」と連携した食品ロス削減推進計画策定支援及び先進的な食品ロス削減の取組の普及展開
- ・市町村単位での食品ロス・廃棄物等発生データ等の効率的な収集・活用にかかるモデル検討（EBPM）

2. ポストコロナの消費形態を踏まえた食品ロス半減に向けた行動変容の促進

- 新型コロナウイルスによる食品ロス発生動向への影響に関する調査等
- ニューノーマルにおける家庭の行動変容を促す普及啓発の検討・推進等
- Newドギーバッグアイデアコンテストの成果を活用した、飲食店からの持ち帰りのためのドギーバッグ導入モデル事業
- 学校現場等における3R促進モデル事業、及びマニュアル改定等

3. 法に基づく安全・安心な食品リサイクルの推進

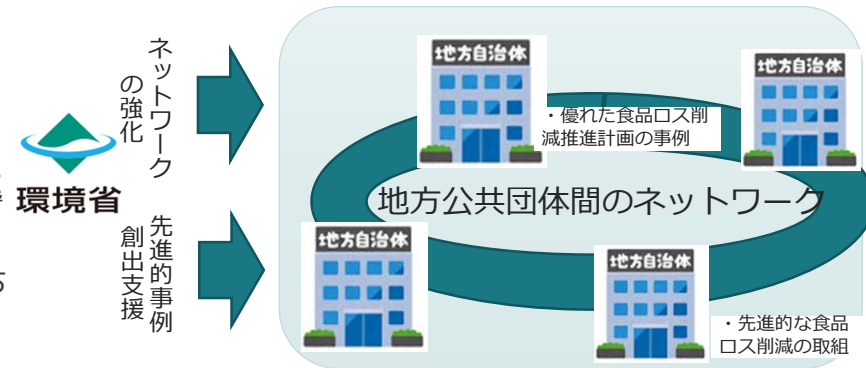
- 地域の外食店等の連携による効率的な食品リサイクルに係るモデル事業
- 食品廃棄物等からの効率的な熱回収方策等に関する検討
- 登録再生利用事業者と食品関連事業者のマッチングの場の提供

3. 事業スキーム

- 事業形態 請負事業
- 請負先： 民間事業者・団体
- 実施期間 平成19年度～令和6年度（予定）

4. 事業イメージ

【地域力を活かした食品ロス・廃棄物の削減の推進】



【コンテストの成果を活用したドギーバッグ導入モデル事業】

- 【食べ残しの持ち帰りに係る課題】
- ・衛生面に関する留意事項に関する利用者の認知
 - ・自己責任での持ち帰りであることについて利用者の理解、店側との相互理解
 - ・周囲の目が気になる等による利用者が持ち帰りを躊躇



モデル事業による新たな手法の検証